

S Y L L A B U S
授業内容・計画

対人援助研究所

授業科目名	スピリチュアルケア特論				
担当者	村田 久行				
実施日時	学期：前期・後期・連続			土曜日	12:30～18:40 → 3隔週開講
開講者	対人援助研究所	必選の別	科目等履修生は必修	対象	科目等履修生、聴講生
注意事項	修了には6回以上の出席が必要				
使用教室	Zoomによるオンライン研修				

科目概要：【スピリチュアルケア特論】

前期の対人援助特論を基礎として、現象学的方法でスピリチュアルペインとそのケアを解明する。

スピリチュアルケアは、従来、欧米において宗教的ケアの一環として特に終末期医療において実践されてきた援助であるが、近年、日本の医療においても宗教とは切り離して患者の「生きる意味を支える援助」として重要視されてきている。

老い・病・障害・死といった人生の危機に遭遇したとき人間は生の無意味、アイデンティティ喪失、生の無価値などの苦痛(スピリチュアルペイン)を持つが、そのことは医療分野にかぎらない。スピリチュアルペインは福祉臨床、あるいは日常の社会においても満ち溢れている。このスピリチュアルペインの構造を人間存在の時間性・関係性・自律性の3次元から解明し、患者・クライエントの「生きる意味への援助」としてスピリチュアルケアの原理を明らかにする。

スピリチュアルケアの具体的な方法については、患者・クライエントのスピリチュアルコーピングストラテジー(対処方策)に従い、スピリチュアルペインの察知とアセスメントの方法、プラニング、評価、カンファレンスの持ち方等を、事例を通して検討する。

事例の検討はすべて現象学的方法論に基づき、ケアの原理である対人援助の関係性に焦点をあてて行うが、検討する内容は終末期がん患者とその家族へのスピリチュアルケア、大切な人を失った遺族の喪失・悲嘆と抑鬱へのスピリチュアルケア、福祉施設入所者や認知症高齢者のスピリチュアルペインとそのケア、現代日本の日常生活にみられる社会的事象での人々のさまざまなスピリチュアルペインとそのケア等である。

授業の進め方：毎回のテーマに従って、

- ①受講生のレポート発表、資料／映像の提示
- ②現象学と対人援助論の視点からの講義と解説
- ③受講生と講師の質疑、討論という形をとる

課題と評価基準：	毎回の小レポートと発表…… 8点×5回 = 40点
	発言と討議の自己評価…… 10点×2回 = 20点
	最終レポートと発表 = 40点
	100点

教科書・参考書：

- [指定テキスト] ……『記述現象学を学ぶ』川島書店, 2017年
- [参考書] …………授業中に紹介します。

履修学生配布用 [授業科目名 : スピリチュアルケア特論] 後期

様式 II A

回	テ　マ	内　容	特　記　事　項
1 (9/30)	授業紹介 スピリチュアルケア①	＜終末期医療でのスピリチュアルケア＞ ・スピリチュアルケア研究の現状 ・スピリチュアルケア研究の方法論 現象学的方法	12:30～18:40
2 (10/21)	スピリチュアルケア②	・スピリチュアルペインの解明 (人間存在の時間性・関係性・自律性) ・スピリチュアルペイン解明への 現象学的アプローチ	12:30～18:40
3 (11/11)	スピリチュアルケア③	・スピリチュアルケアの原理 事例からスピリチュアルコーピング を解読する	12:30～18:40
4 (12/2)	認知症高齢者のスピリチュアルケア	＜終末期医療以外の分野でのＳＰケア＞ ・苦しみを和らげる認知症ケア ・認知性高齢者のスピリチュアルペイン とそのケア	12:30～18:40
5 (12/23)	日常にあふれるスピリチュアルペインとケア(1)	・日常の社会事象や事件にあふれている スピリチュアルペインを探索し分析する	12:30～18:40
6 (1/13)	日常にあふれるスピリチュアルペインとケア(2)	・日常の社会事象や事件にあふれている スピリチュアルペインをケアする方法を 考える	12:30～18:40
7 (1/27)	スピリチュアルケア 発表と討論	・受講者の発表と討論 ・最終レポート課題	12:30～18:40

2023年度用